

# Anritsu Advancing beyond

航空/船舶/気象レーダーのシミュレーションに最適  
送信トリガ出力のないレーダーの受信性能試験に対応  
MG36221A/41A 信号発生器

米国2022 Military & Aerospace Electronics Innovators Awardsで最高(プラチナ)賞受賞 ※注1



PRFとパルス立上/下がり測定を可能にした  
10 Gbpsサンプリング性能のパワーセンサ  
MA24418A/40A USBピークパワーセンサ

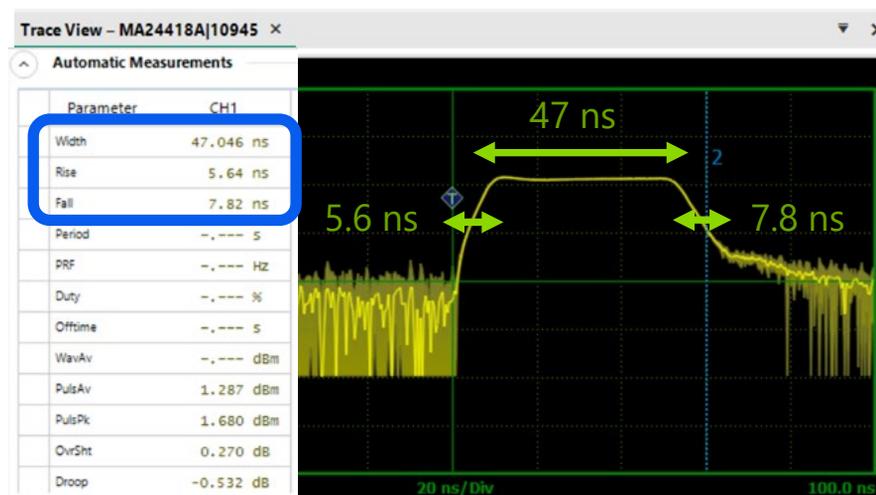


レーダー測定にマッチした測定紹介

## レーダー市場にマッチした3つの特徴

- ✓ **C/X/Ku バンドをカバーする周波数対応モデル**  
9 k ~ 20 GHz MG36221A 信号発生器  
50 M ~ 18 GHz MA24418A USBピークパワーセンサ
- ✓ **PRFとパルス立上/下がり測定を完全サポート**  
高速サンプリングオシロスコープと同等のサンプリング性能で時間軸解析機能を充実。

MA24418A  
USBピークパワーセンサ  
測定例



- ✓ **送信トリガ出力の無いレーダーの受信性能試験が可能**  
MG36221A 信号発生器はRF出力端子しかないレーダーの出力パルス信号に同期した出力が可能です。これにより感度（受信レベル）試験だけでなく距離（時間）測定ができます。

※注 1 <https://www.militaryaerospace.com/computers/article/14282031/technology-innovators-awards>

EMC市場の有効性

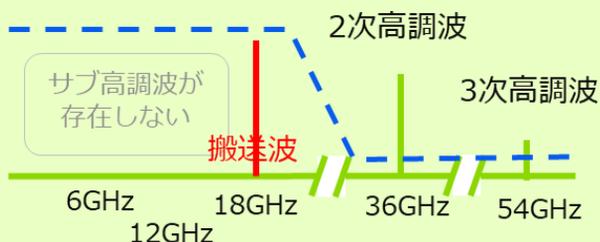
CISPR16-1-1の上限18 GHzが5G運用周波数に合わせ周波数拡張を予定しています。5Gグローバル運用上限周波数は43.5 GHz(40 GHzではありません)。更に2.92 mmコネクタの上限周波数43.5 GHz改定をIEC SC46Fで審議中です。2.92 mmコネクタを実装したMG36241A (~43.5 GHz)はこれら規格改定を見据えた測定が可能です。

サブ高調波が存在しない構造

通常信号発生器で20 GHz出力をする場合、基本波を逡倍し出力しておりLPFでは取り切れないサブ高調波が発生します。これに対しMG36221A/41Aは20 GHzまで基本波でサブ高調波が存在しません。Kuバンド(12.5 ~ 18 GHz)レーダー増幅器測定でMG36221A/41Aは一つのLPF接続で対応できますが、他社は高価なBPFが複数必要となります。更に位相雑音性能がスピン回転制御精度に関係することから、MG36221A/41Aは優れた回転精度を提供します。

MG36221A/41A

1個のLPFでKu帯を全てカバーできます。



一般的な信号発生器

複数のBPFが必要。



信号発生器とUSBピークパワーセンサのラインナップ

信号発生器	MG36221A	9 k ~ 20 GHz	
	MG36241A	9 k ~ 43.5 GHz	
USBピークパワーセンサ	MA24406A	50 M ~ 6 GHz	VBW 195 MHz
	MA24408A	50 M ~ 8 GHz	VBW 165 MHz
	MA24418A	50 M ~ 18 GHz	VBW 70 MHz
	MA24440A	50 M ~ 40 GHz	VBW 70 MHz

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。

アンリツ株式会社 <https://www.anritsu.com>

通信計測営業本部 営業推進部  
TEL: 0120-133-099 / FAX: 046-296-1248  
E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp

弊社提供の資料類は、第三者への移転、輸出及び国外持出しの際には、「外国為替法及び外国貿易法」により日本政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。法令に定められた要件に従って取り扱いいただきますようお願いいたします。